

# 竹内 恒夫

名古屋大学大学院 環境学研究科 教授

1954年2月、愛知県美浜町生まれ。  
1976年3月、名古屋大学 経済学部 卒業  
1977年4月～2006年3月、環境庁・環境省 勤務  
2006年4月から現職

## 主な著書

- ・ 環境構造改革ードイツの経験からー、リサイクル文化社、2004年
- ・ 「環境と福祉」の統合ー持続可能な福祉社会の実現に向けてー、共著、有斐閣、2008年
- ・ 低炭素都市ーこれからのまちづくりー、共著、学芸出版社、2010年
- ・ 環境ー持続可能な経済システムー、共著、勁草書房、2010年
- ・ 社会環境学の世界、共編著、日本評論社、2010年
- ・ 水の環境学、共著、名古屋大学出版会、2011年
- ・ 二つの温暖化ー地球温暖化とヒートアイランドー、共著、成山道書店、2012年

## 主な関連論文

- 検証：固定価格買い取り制度「カギは制度運用の実効性～電力取引所開設でメリット・オーダー効果を～、竹内恒夫、月刊ビジネスエネコ 地球環境とエネルギー、45巻6号（頁：58-61）、2012年
- 脱原発と併せ「分散型」の時代に即した計画を、竹内恒夫、月刊ビジネスエネコ、45巻1号（頁：23-27）、2012年
- 脱原発でCO2大幅削減ー脱原発・脱温暖化ロードマップ提案ー、竹内恒夫、月刊ビジネスアイエネコ、44巻9号（頁：24-27）、2011年
- グリーン成長戦略の国際的展開ードイツを中心にー、竹内恒夫、資源環境対策、46巻8号（頁：57-62）、2010年
- 広域的地域における長期的CO2削減ロードマップの試み、竹内恒夫、環境科学会誌、23巻4号（頁：307-313）、2010年
- 京都議定書の批准に至る政治過程の検証及び考察、竹内恒夫、人間環境学研究、6巻2号（頁：49-56）、2008年
- これからの名古屋ー名古屋におけるCO2排出2050年マイナス75%のロードマップ、竹内恒夫、杉山範子、空気調和・衛生工学会誌、82巻9号（頁：85-90）、2008年
- 名古屋における2050年CO2マイナス60%ロードマップの提案、竹内恒夫、杉山範子、資源環境対策、44巻4号（頁：50-55）、2008年
- 進む温暖化対策の現場ードイツの最新事情ー義務づけられていく「再生可能熱」の利用ー、竹内恒夫、資源環境対策、45巻2号（頁：31-36）、2008年
- Local Policies for Climate Change in Japan, Noriko Sugiyama, Tsuneo Takeuchi, The Journal of Environment & Development, 17巻4号（頁：424-441）、2008年

その他：分散型エネルギー新聞「グリーン革命へのコンセプト・ノートー環境構造改革」（2009年10月から毎月1回連載中）